



**Nagasaki Design
Award 2011**

長崎デザインアワード 2011

ごあいさつ

長崎は古くより唯一の海外貿易の窓口として、異国の先進技術や文化を積極的に取り入れる一方、海外への日本文化の発信地としての役割を担ってきました。そうした異国の技術や文化と日本文化をうまく“融合”させることで、「長崎ならではの」文化を育んできました。

社会のグローバル化が進展する中で、デザインに求められているものは、普遍的で新しい価値を創造していくことであり、地域の特性を生かしながら、地域や社会に豊かさをもたらすものであると考えます。

「長崎デザインアワード 2011」は豊かな地域・社会の実現に向けて、県内で企画、開発されている商品の中から、優れたデザインを選定・表彰し、県内製造業のデザイン開発意欲やデザイン力の向上に寄与することを目的として開催するものです。

県内で初めてとなる本アワードには、生活関連用品をはじめ、パッケージや家具、インテリア用品、医療・福祉機器、食品など 164 点のご応募をいただき、選定委員による審査の結果、大賞をはじめとする 14 賞と入選を合わせた 44 点の選定品を決定いたしました。これら選定された商品が、市場に数多く広がっていくことを大いに期待しております。

今後ますます優れたデザインの商品がこの長崎から生まれ、多くの皆様に愛されることを祈念いたします。

平成 24 年 3 月 吉日

長崎県産業デザインネットワーク
会 長 松尾 慶一

概 要

長崎デザインアワード 2011 開催概要

■ 目的

「長崎デザインアワード 2011」は、豊かな地域と社会の実現に向け、県内で企画・開発されている商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、県内製造業のデザイン開発意欲やデザイン力の向上に寄与することを目的として開催するものです。

■ 賞

大 賞	1 点
金 賞	1 点
銀 賞	1 点
銅 賞	1 点
長崎賞	3 点
奨励賞	7 点



受賞者の方々／表彰式 2011.11.30

■ 募集部門

1. 生活デザイン部門
2. パッケージデザイン部門
3. 家具・住環境デザイン部門
4. 工業・医療・教育デザイン部門
5. 食品デザイン部門

■ 募集対象

長崎県内で企画・開発された上記5分野の商品のうち、反復生産が可能なもので、平成 20 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日に商品化され販売されているもの。

■ 応募資格

県内に事業所を置く企業、団体、個人。

■ 長崎デザインアワード 2011 応募状況（結果）

応募総数 : 164 点、80 企業

■ 長崎デザインアワード 2011 部門別応募状況（結果）

部 門	企業数	点 数
1) 生活デザイン	28	70
2) パッケージデザイン	23	46
3) 家具・住環境デザイン	6	12
4) 工業・医療・教育デザイン	8	11
5) 食品デザイン	20	25
合 計	85※	164

※5 社が複数部門応募

総 評

今回、第1回「長崎デザインアワード2011」の生活デザイン部門、パッケージデザイン部門、家具・住環境デザイン部門、工業・医療・教育デザイン部門、食品デザイン部門等と幅広い分野からの多数の応募が寄せられ、長崎県の多様な業界におけるデザインの広がりや取り組みの力強さを感じるアワードであった。その中でも陶磁器業界からの応募が多くみられ、陶磁器業界がデザインを市場戦略として取り組み、マーケットの活性化に力を入れている状況が見て取れる選定会であった。

今後、円高や新興国からの低価格競争の追い上げ、グローバル化、社会の環境意識の変化により、厳しい社会状況の中で勝ち抜く為にデザインは重要なキーワードとなるであろう。

かつて、長崎から日本全土に対して新しいデザインの風を吹き起したように、今後「長崎デザインアワード」から世界に向かって新しいデザインの風を発信できるような事業に発展することを願ってやまない。

「長崎デザインアワード2011」選定委員長 山村 真一

選定委員



◎委員長

山村 真一

(株)コボ 代表取締役社長
プロダクトデザイナー



◎委員

岡本 一宣

(有)岡本一宣デザイン事務所
代表取締役社長
グラフィックデザイナー



城谷 耕生

Studio Shirovani 代表
建築、クラフトデザイナー



森田 昌嗣 ※

九州大学大学院芸術工学
研究院教授
デザインディレクター

※撮影：Miho YAMASHITA



山崎 加代子

(株)イー・エス・九広
企画業務部
グラフィックデザイナー

入賞作品一覧

<p>大 賞</p> <p>タイトル ■ たらみフルーツ工房 フレッシュフルーツの生ゼリー</p> <p>受賞者 ■ 清水 周英</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 たらみ</p> <p>部門名 ■ 食品デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ 障害者用チャイルドシート キャロット II</p> <p>受賞者 ■ 山崎 一雄</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 シーズ</p> <p>部門名 ■ 工業・医療。教育デザイン部門</p> 
<p>金 賞</p> <p>タイトル ■ ododo</p> <p>受賞者 ■ 中尾 善之</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 中善</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ 雲仙ヒノキを使った家具シリーズ 格子ベンチ</p> <p>受賞者 ■ 有限会社 シロタニ木工</p> <p>事業所名 ■ 有限会社 シロタニ木工</p> <p>部門名 ■ 家具・住環境デザイン部門</p> 
<p>銀 賞</p> <p>タイトル ■ ミニしょうゆさし フラスコ</p> <p>受賞者 ■ 阪本 やすき</p> <p>事業所名 ■ 白山陶器 株式会社</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ 白とクリアの皿</p> <p>受賞者 ■ 小松 史香</p> <p>事業所名 ■ ルナ・イエナ</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 
<p>銅 賞</p> <p>タイトル ■ 防犯灯 (LED 照明器具)</p> <p>受賞者 ■ 株式会社 イネックス</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 イネックス</p> <p>部門名 ■ 家具・住環境デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ ONEST シリーズ</p> <p>受賞者 ■ 富永 和弘</p> <p>事業所名 ■ 白山陶器 株式会社</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 
<p>長崎賞</p> <p>タイトル ■ ナガサキインサイトガイド</p> <p>受賞者 ■ 梅元 建治</p> <p>事業所名 ■ 一般社団法人 ナガサキベイデザインセンター</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ 特撰カステラ (和三盆・お濃茶・黒糖)</p> <p>受賞者 ■ 中川 安英</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 文明堂総本店</p> <p>部門名 ■ パッケージデザイン部門</p> 
<p>長崎賞</p> <p>タイトル ■ オリジナルグッズ (ハタシリーズ)</p> <p>受賞者 ■ 梅元 建治</p> <p>事業所名 ■ 一般社団法人 ナガサキベイデザインセンター</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ 五島手延うどんセット KT-35</p> <p>受賞者 ■ 株式会社 長崎五島うどん</p> <p>事業所名 ■ 株式会社 長崎五島うどん</p> <p>部門名 ■ パッケージデザイン部門</p> 
<p>長崎賞</p> <p>タイトル ■ 和鍛冶開封刀 (ペーパーナイフ)</p> <p>受賞者 ■ 田中鎌工業 有限会社</p> <p>事業所名 ■ 田中鎌工業 有限会社</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 	<p>奨励賞</p> <p>タイトル ■ Evolving Tradition Nakao</p> <p>受賞者 ■ Evolving Tradition Nakao project</p> <p>事業所名 ■ 有限会社 吉村陶苑</p> <p>部門名 ■ 生活デザイン部門</p> 

大賞

The Grand Prize

たらみフルーツ工房

フレッシュフルーツの生ゼリー

部門 ■ 食品デザイン部門

受賞者 ■ 清水 周英

企業名 ■ 株式会社 たらみ



審査講評 ■ 夏の長崎空港で遭遇するフルーツゼリーカフェ。色と形で疲れた乗客の気持ちをやわらげる。豊かな自然を持つ長崎の土地から生まれた新しいフレッシュメント・スイーツ。冷やしてそのままスプーンをつけて。もてなしの心を持ったパッケージ。食材の美しい加工で「くらしのかたち」を演出する。長崎から軽やかなおもてなしを！

デザインコンセプト ■ ～美味しさを追求したら「生」にたどり着きました～ フルーツを「生」に近い感覚で味わっていただくため、果肉に加熱加工（ボイル加工）をせず、そのままゼリーに閉じ込めました。

保存料も使用しておりませんので、フルーツ本来のフレッシュな美味しさをお楽しみ頂けます。

商品の特徴 ■ 旬ごとに季節のフルーツをお楽しみ頂けるよう日本国内の厳選した産地より直接仕入れたフルーツを使用。フルーツの美味しさを最大限に活かすため、ゼリーはあえて甘さを控えたシンプルなものにし、フルーツの個性に合わせて工夫を凝らしています。スタンダードな生ゼリー他、炭酸、コメ・ジャガイモ・ミルクなどデザートとして楽しめるバラエティー豊かな商品を取り揃えています。



Nagasaki Design
Award 2011

金賞

The Gold Prize

ododo (オドド)

部門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 株式会社 中善

企業名 ■ 株式会社 中善



審査講評 ■ オドドという、ちょっと変でユーモラスな名前にふさわしい、癒し系のランプである。実在、それとも架空の生きものなのか？曲線を生かした温かみのあるフォルムは、見る人のイメージを更に楽しく膨らませる。透過性の高い波佐見の上質の土（磁器）を使用しているため、放つ光が柔らかく美しい。電源をLEDにし、しっぽらしきコードをコードレスにすることで、もっと本体のオブジェとしての存在感が強くなりそうな気がする。

デザインコンセプト ■ コードがシッポの光るいきものたち。

商品の特徴 ■ コードがシッポのへんないきものたち。名前は boddo と moddo です。つるつとした滑らかな質感とシッポがはえたようなフォルムがとても愛らしいランプです。波佐見焼の磁器を透したやわらかくほんのりしたあかりが、さりげなくかわいいアクセントとなります。



Nagasaki Design
Award 2011

銀賞

The Silver Prize



ミニしょうゆさし フラスコ

部 門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 阪本 やすき

企業名 ■ 白山陶器 株式会社

審査講評 ■ より美味しい醤油を味わう為、家庭の食卓で一回の食事で使い切る醤油さしが欲しいという現代生活の要望に応える小さめの醤油さし。ボディより大きな蓋にする事により醤油によって蓋まわりが汚れる事を避け、注ぎ口を真下に向けて後もれをほとんどなくしている。醤油さしという難しいテーマに対して経験を駆使し、熟考を重ねて商品化した事が伺える。しかもこれだけ機能を追求しながらも全体の造形にも全く妥協していない。

商品の特徴 ■ 従来、白山陶器には無かったサイズ感。40ml ほどの実用容量のしょうゆさしは、2・3人の食卓でしょうゆを使いきるのにちょうどいい。色は白磁、黄、鉄赤、天目の4色。

デザインコンセプト ■ 使いやすい容量のちいさなしょうゆさし。

Nagasaki Design
Award 2011

銅賞

The Bronze Prize

防犯灯 (LED 照明具)

部 門 ■ 家具・住環境デザイン部門

受賞者 ■ 株式会社 イネックス

企業名 ■ 株式会社 イネックス



審査講評 ■ 昼夜問わず景観を損なわず取り付け電柱と一体化する防犯灯。夜間の安心安全を確保するために、住民側の負担で設置される防犯灯の機能面と景観面の両面からのデザインが、この防犯灯に施されている。機能面では、LED を用いることによる電力負荷を軽減し、電気料金を下げるとともに、環境への配慮にも結び付く。そして、景観面では、電柱との調和を考慮した主張しないやさしい造形により、住宅地、商業地などの設置場所を選ばない。以上、機能と景観を両立させる環境へ配慮したデザインが高く評価された。

デザインコンセプト ■ 取り付け電柱と一体型に見える、昼夜を問わず景観を損なうことなく周囲の空間と調和するよう配慮しデザインしました。

商品の特徴 ■ 住宅街、商店街等はこれまで 20wの蛍光灯が設置されており、電気料金区分が 40V A、20V Aとなっています。そこで今回は 20V A、9.2wとし、電気料金の総コストを下げる事、そしてより景観を重視したデザインにしました。田舎ではまだまだ防犯灯の整備は遅れており、10V A以下にする事で、その電力負荷を軽減したいと考えています。



Nagasaki Design
Award 2011

長崎賞

The Nagasaki Prize



ナガサキ インサイトガイド

部門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 梅元 建治

企業名 ■ 般社団法人 ナガサキベイデザインセンター

審査講評 ■ 長崎の歴史や観光名所、特産品等をグラフィカルに盛り込んだ、これまでにはなかった長崎の観光ガイドブック。長崎を発信する「メディア」の今後の提起となる作品で、ひとつの方向性の提案として評価された。

デザインコンセプト ■ これまでの観光ガイドブックとは視点を変え、写真やグラフィックをふんだんに取り入れ、重層的な長崎の情報をわかりやすくインデックス化し発信しました。

商品の特徴 ■ 「ナガサキ」と聞いて誰もが思い浮かべる項目を、今回は明治中期までの歴史が育んだ77のキーワードに集約して紹介しました。巻末のまちなか地図と一緒に、まちあるきにも活用できます。

Nagasaki Design
Award 2011

長崎賞

The Nagasaki Prize

ナガサキベイデザインセンター
オリジナルグッズ（ハタシリーズ）

部 門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 梅元 建治

企業名 ■ 一般社団法人

ナガサキベイデザインセンター



Nagasaki Design
Award 2011

審査講評 ■ 長崎の伝統的な行事のひとつであるハタ揚げに用いられるハタをモチーフにしたオリジナルグッズ。赤、白、青を基調にバッグ、ハンカチ、パッチなど伝統的なハタのデザインをカジュアルにまとめた、長崎らしいデザインが評価された。

デザインコンセプト ■ モノがコミュニケーターとして長崎をイメージさせるお土産をつくりたい。

ーそれには、品質、価格、デザインがきちんと考えられていることが大切だと思います。ー

商品の特徴 ■ 缶バッジ大・小、クリアフォルダー、ハンカチーフ、トートバッグ

長崎人自慢のハタをモチーフにしたシリーズ（5種）です。

長崎賞

The Nagasaki Prize



和鍛冶開封刀 (ペーパーナイフ)

部門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 田中鎌工業 有限会社

企業名 ■ 田中鎌工業 有限会社

審査講評 ■ 長崎県の伝統的工芸品である松原刃物。新しいアイテムとして取り組んだこのペーパーナイフは、伝統と高度な技術を受け継ぎながら、優れたデザインと職人技によりまとめられた新たな試みが評価された。

デザインコンセプト ■ 松原鍛冶は、平家一族の名刀師の流れを受け継ぎます。土地の農民の苦勞を聞き、使いやすい鎌を作ったことが、以降 600 年の松原鎌・包丁の歴史につながりました。その技術を駆使し、この『和鍛冶開封刀』を開発しました。

コンセプトは『時間』と『想い』の融合。

現代、人とのコミュニケーションにおいて、メールやソーシャルメディアなど“デジタル”が多用されています。一方でまた、手紙を尊ぶ方も多いように思えます。そして、手書きでしたためられた文章をいただくと、“なぜか心が落ちつく”“感動する”といった声もしばしば耳にします。それはきっと、文字を書くという行為、時間そのものに、その人の想いが詰まっているからではないでしょうか。そんな、手紙を読む、人の想いに触れるというひとときを大切にしてほしいという気持ちを、デザインに込めました。大人のための自慢したくなるペーパーナイフです。

商品の特徴 ■ デザインは鉄の持つ色合、研磨による輝きの融合と鍛冶の技、曲げる伸ばすを生かしました。ペーパーナイフの切れ味、カッターの先の役割が有りながら、安全性を考えた程度の切れ味に仕上げました。



Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize



障害者用チャイルドシート 「キャロット II」

部 門 ■ 家具・住環境デザイン部門

受賞者 ■ 山崎 一雄

企業名 ■ 株式会社 シーズ

審査講評 ■ これまでの障害者用のチャイルドシートは、障害に応じたフルオーダーの製品がほとんどであったが、この商品は、本体などの基本部材を型成形したセミオーダーを実現し、ヘッドレストやその他の固定器具をオプションにすることで、価格と機能面を両立させたもの。ヨーロッパをターゲットとしており、ビビッドなカラーリングなどのデザイン性が評価された。

デザインコンセプト ■ 重度の肢体不自由児のための、使いやすく安全なチャイルドシートを開発しました。

商品の特徴 ■

- 1：2才から15才までの、幅広い成長対応機能を持つ（成長に合わせて本体を買い換える必要がない）。
- 2：国際的な安全基準の、認定品であること（日本、ヨーロッパおよびアメリカ）。



Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize



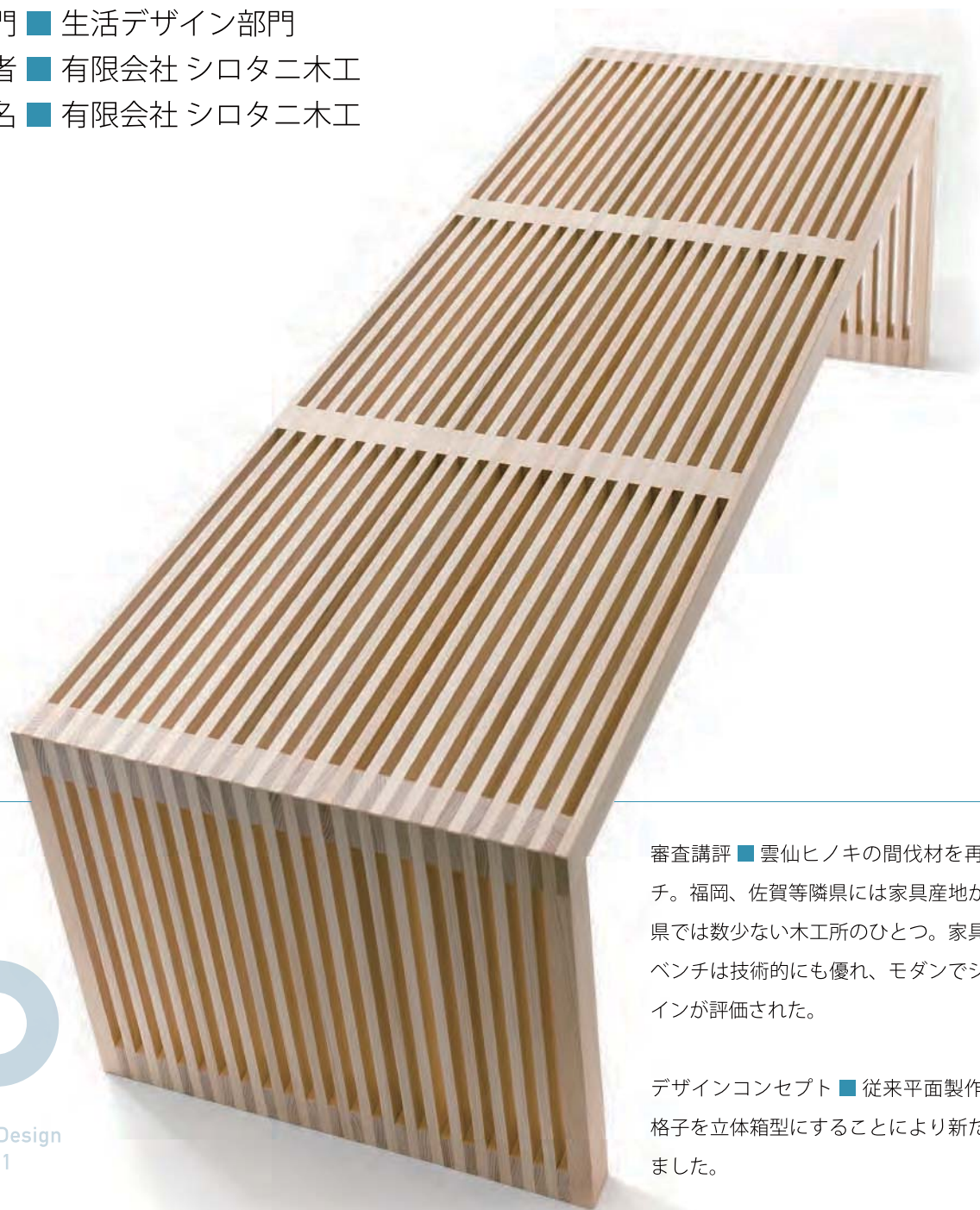
雲仙ヒノキを使った家具シリーズ

格子ベンチ

部 門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 有限会社 シロタニ木工

企業名 ■ 有限会社 シロタニ木工



審査講評 ■ 雲仙ヒノキの間伐材を再利用したベンチ。福岡、佐賀等隣県には家具産地があるが、長崎県では数少ない木工所のひとつ。家具職人が作ったベンチは技術的にも優れ、モダンでシンプルなデザインが評価された。

デザインコンセプト ■ 従来平面製作に用いられた格子を立体箱型にすることにより新たな展開を探りました。

商品の特徴 ■ ヒノキの間伐材を、建具指物の伝統技術を活かし商品化しました。

Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize

白とクリアーの皿

部 門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 小松 史香

企業名 ■ ルナ・イエナ



審査講評 ■ 生活食器の提案の中で数少ないガラス製の食器のデザイン。白とクリアーのガラスのストライプは、確かな職人の技術を裏づけている。

ハンドメイドによる形状のやわらかさと、見る角度によって色が変わる光彩の、心地よいデザインが評価された。

デザインコンセプト ■ 白とクリアーの使い方を追求しています。

商品の特徴 ■ 見る角度によって色が変わります。



Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize

ONEST シリーズ

部 門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ 富永 和弘

企業名 ■ 白山陶器 株式会社



審査講評 ■ 長崎県内でも特にデザインに注力している企業の商品。確かで高度な製造技術とデザインは、伝統とモダンの枠を超えた風格を感じる商品。ベーシックでありながら、細部にわたる巧みな造形で、落ち着いたまとまりのあるデザインが高く評価された。

デザインコンセプト ■ 落ち着いた雰囲気のスタンダードなティーアイテムの提案。

商品の特徴 ■ カップやポットからなる、ティーアイテム。マット釉と内側の白磁の質感のコントラストが特徴です。

カップ類は、フチを少しそらせることで口当たりが良く飲みやすい形状です。

Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize



特撰カステラ

(和三盆・お濃茶・黒糖)

部門 ■ パッケージデザイン部門

受賞者 ■ 中川 安英

企業名 ■ 株式会社 文明堂総本店

① 核家族化、個食化に対応するためのサイズ小型化、
② 趣向の多様化に対応すべく、味のレパートリーの追加を行いました。

長崎みやげ、また中元歳暮ギフトなどだけではなく、ちょっとしたパーティやお呼ばれ、さらには、家族の記念日などの自家需要として、より気軽に様々なご用途にご利用いただける商品となるようにデザインを一新しました。

商品の特徴 ■ 高級感を残しつつ、よりカジュアルに楽しんでいただくために、あえて「紙」の包装箱としました。台形を重ね合わせる独自の外箱は、木箱に負けないシンプルでモダンなパッケージとなり、紙の持つ高級で無垢な質感がより上品さを醸し出しています。

外箱はそれぞれの味とリンクした色の紙スリーブで止めるようにし、淡い色味の中にポイントカラーを配しています。内箱もこれと同様に色をリンクさせ、箱を開けた時に上品な色イメージが伝わるようにしております。2本・3本セット販売も考慮し、パッケージもそれぞれバリエーションを持たせています。さらに、パッケージ表面には、CIとして使用している「文明堂中川紋」ではなく、「新デザインエレメント」を配しております。これは暖簾分けをしている他の文明堂商品ではなく、長崎の「『文明堂総本店』らしさ」を表現しています。

また、この商品は既存の紙袋ではなく、外装と同時にデザインしたオリジナル紙袋を使用して、新たな文明堂商品として認知されるような工夫もしております。

審査講評 ■ 創業明治 33 年の老舗メーカーが、パッケージのデザインを大きくリニューアルした商品で、木箱を台形の紙箱に変え、高級感のあるシンプルでかつオシャレなデザインと、企業のデザインに対する姿勢が高く評価された。

デザインコンセプト ■ 従来商品の「特撰かすてら」は特製の木箱に入っており、「御進物」を主に考えた商材であり、弊社のフラッグシップ商品としてお客様の高い評価を頂戴しています。その従来商品より「より身近な商品」として多くの方にお召し上がりいただくため、



Nagasaki Design
Award 2011

奨励賞

Encouragement Prize



五島 手延べうどんセット KT-35

部 門 ■ パッケージデザイン部門
 受賞者 ■ 株式会社 長崎五島うどん
 企業名 ■ 株式会社 長崎五島うどん

審査講評 ■ 長崎の特産品である五島うどんのパッケージデザイン。上五島のつばきがデザインされたパッケージで、大胆な色使いと郷愁のあるグラフィックが巧みに表現されているデザインが評価された。

デザインコンセプト ■ 上五島の椿をイメージ。

商品の特徴 ■ 国内産小麦使用、細いながらもモチリとした強いコシとつるりとした喉ごしが特徴。



奨励賞

Encouragement Prize

Evolving Tradition Nakao

部門 ■ 生活デザイン部門

受賞者 ■ Evolving Tradition Nakao project

企業名 ■ 有限会社 吉村陶苑

審査講評 ■ この商品は、デザイナー、職人、窯元、商社など、分業体制の陶磁器産業において、各分野の人達を結ぶプロジェクトとして取り組んだ商品。伝統的なフォルムと絵付技法を現代に活かすものづくりを目指した試みとデザインが評価された。

デザインコンセプト ■ 時代と共に進化する伝統、私達が大切に育み伝えてきた伝統の技や素材、そして、それを育んできた文化を今の時代に活かし、現代の生活にマッチした将来においても使い続けていただける確固たるモノづくりと、それを次の世代へ繋げることが私達の使命と考え、Evolving Tradition Nakao プロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは「次へ繋ぐ確かなもの・波佐見・中尾」をテーマに現代的なフォルムと波佐見町・中尾地区の伝統技法である染付や千筋の加色飾を融合させ、中尾の現代に活かすオリジナルデザインのモノづくりを目指します。このプロジェクトは、デザイナー、職人、メーカー（窯元）、商社など、作り手から使い手までの各分野の人達によって構成されています。

商品の特徴 ■ 伝統技法とモダンデザインの融合。機能的なモダンなフォルムと伝統技法（染付、だみ、千筋など）。日本の伝統を現代に活かすことです。



入選作品一覧

タイトル ■ かなピンブローチ
 受賞者 ■ 福田 雄大
 事業所名 ■ 株式会社 坂元木工工務
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ Town コンディメントセット
 受賞者 ■ 島田 さやか
 事業所名 ■ 西海陶器 株式会社
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ 絆 (A: 盛皿、B: 取皿、C: 小皿)
 受賞者 ■ 眞崎 善太
 事業所名 ■ 有限会社 一真陶苑
 部門名 ■ 生活デザイン部門



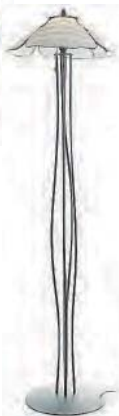
タイトル ■ オーガニックコットン雪うさぎ
 受賞者 ■ Happiness.rab
 事業所名 ■ Happiness.rab
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ e-とっておきマグ
 受賞者 ■ 小柳 吉喜
 事業所名 ■ 有限会社 アイユー
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ 白とクリアーのランプ
 受賞者 ■ 小松 史香
 事業所名 ■ ルナ・イエナ
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ MAYU シリーズ (鉢)
 受賞者 ■ 富永 和弘
 事業所名 ■ 白山陶器 株式会社
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ ツイスト
 受賞者 ■ 富永 和弘
 事業所名 ■ 白山陶器 株式会社
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ 尾曲がり猫ねくたい
 受賞者 ■ 高島 茂夫
 事業所名 ■ 有限会社 長崎まちづくり屋
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ 長崎・居留地まつりオリジナルグッズ
 受賞者 ■ 梅元 建治
 事業所名 ■ 長崎・居留地まつり実行委員会事務局
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ カルテット
 受賞者 ■ 重山陶器 株式会社
 事業所名 ■ 重山陶器 株式会社
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ 凸凹タンブラー
 受賞者 ■ 竹田 礼人
 事業所名 ■ 有限会社 瑠璃庵
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ TAAMA
 受賞者 ■ 阪本 やすき
 事業所名 ■ 白山陶器 株式会社
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ Pizzara
 受賞者 ■ 株式会社 西山
 事業所名 ■ 株式会社 西山
 部門名 ■ 生活デザイン部門



タイトル ■ tatto
 受賞者 ■ 株式会社 西山
 事業所名 ■ 株式会社 西山
 部門名 ■ 生活デザイン部門



入選作品一覧

タイトル ■ はたらく車パッケージ
 受賞者 ■ 大坪 晃史
 事業所名 ■ 株式会社 旭屋
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ 玉葱ジャム Magic Onion
 受賞者 ■ マジックオニオン有限責任事業組合
 事業所名 ■ マジックオニオン有限責任事業組合
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ 長崎・茂木びわネクター
 受賞者 ■ 梅元 建治
 事業所名 ■ 茂木地域資源活用委員会
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ スープちゃんぽん
 受賞者 ■ 狩野 一也
 事業所名 ■ 株式会社 狩野ジャパン
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ お菓子の家ボックス (雲仙観光ホテル様)
 受賞者 ■ 岩崎 裕子
 事業所名 ■ 株式会社 岩崎紙器
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ 鯉のぼりボックス
 受賞者 ■ 岩崎 裕子
 事業所名 ■ 株式会社 岩崎紙器
 部門名 ■ パッケージデザイン部門



タイトル ■ 雲仙ヒノキを使った家具シリーズ 畳ベンチ
 受賞者 ■ 有限会社 シロタニ木工
 事業所名 ■ 有限会社 シロタニ木工
 部門名 ■ 家具・住環境デザイン部門



タイトル ■ 長崎龍馬の道およびマップ
 受賞者 ■ 梅元 建治
 事業所名 ■ 一般社団法人ナガサキベイデザインセンター
 部門名 ■ 家具・住環境デザイン部門



タイトル ■ ユニチェア LOZA
 受賞者 ■ 山田 公明
 事業所名 ■ 株式会社 無限工房
 部門名 ■ 家具・住環境デザイン部門



タイトル ■ インフィニティ・コンフォートDX
 受賞者 ■ 山下 清治
 事業所名 ■ 株式会社 無限工房
 部門名 ■ 工業・医療・教育デザイン部門



タイトル ■ 小型野菜栽培ボックス
 受賞者 ■ 宮本 憲
 事業所名 ■ 宮本電機 株式会社
 部門名 ■ 工業・医療・教育デザイン部門



タイトル ■ Dream Excellent Rice
 受賞者 ■ 下山 俊雄
 事業所名 ■ 株式会社 マインドバンク
 部門名 ■ 食品デザイン部門



タイトル ■ 和製スイートポテト じゃが玉
 受賞者 ■ 加藤 隆太
 事業所名 ■ 合資会社 遠江屋
 部門名 ■ 食品デザイン部門



タイトル ■ カンコロモチスティック
 受賞者 ■ 有限会社 草加家
 事業所名 ■ 有限会社 草加家
 部門名 ■ 食品デザイン部門



タイトル ■ ゆで蒸し角煮
 受賞者 ■ 馬渡 真・羽山 潤一
 事業所名 ■ 角煮の季泉・デジマグラフィ
 部門名 ■ 食品デザイン部門





Nagasaki Design
Award 2011

長崎デザインアワード 2011

発行

2012年3月28日発行

制作

長崎県産業デザインネットワーク

企画・編集

長崎デザインアワード 2011 事務局

撮影

村松 琢磨（村松琢磨写真室）

装本・印刷

日本紙工印刷株式会社

協力

一般社団法人 ナガサキベイデザインセンター

お問い合わせ

長崎県産業デザインネットワーク事務局
〒859-3726 長崎県東彼杵郡波佐見町稗木場郷 605-2
（長崎県窯業技術センター内） TEL：0956-85-3140

※本誌掲載の記事、写真、図表等の無断転写（コピー）、
転載、転用、複製を固く禁じます。

The background features a large, light beige circle with a white center, set against a white background. The text is positioned to the left of the white center.

**Nagasaki Design
Award 2011**

長崎デザインアワード 2011